

4. 仕事と家庭、地域・個人の生活の両立について(1/2)

※①「仕事優先」+②「家庭、地域、個人の生活にも携わるが仕事優先」・・・仕事中心の生活バランス

③「家庭生活、地域・個人の生活と仕事を同じように両立」・・・全て両立

④「仕事にも携わるが、家庭生活、地域・個人の生活を優先」+⑤「家庭、地域・個人の生活優先」

・・・家庭中心の生活バランス

と読み換えます。

(7)－①②生活バランスの希望と現実

<希望する生活バランス>

総計：全て両立(36.5%)と、家庭中心の生活バランス(35.4%)がほぼ同数となっている。

仕事中心の生活バランスを希望しているのは、2割程度(22.5%)。

男性10代・・・仕事中心(33.3%)と、家庭中心の生活バランス(33.4%)がほぼ同数となっている。

男性20代・・・家庭生活中心の生活が最も多い。(45.0%)

男性30代、40代・・・全て両立の生活バランスが最も多い。(30代 39.3%、40代 34.8%)

男性50代、60代・・・仕事中心の生活バランスが最も多い。(50代 41.7%、60代 39.0%)

女性10代・・・全て両立の生活バランスが最も多い。(80.0%)

女性20代・・・全て両立(41.3%)と家庭中心の生活バランス(43.4%)がほぼ同数。

女性30代、40代、60代・・・家庭中心の生活バランスが最も多い。

(30代 49.1%、40代 59.5%、60代 30.0%)

女性50代・・・全て両立の生活バランスが最も多い。(47.4%)

<現実の生活バランス>

総計：仕事中心の生活バランスが半数以上(54.5%)、全て両立は1割程度(10.8%)。

男性10代～60代・・・仕事中心の生活バランスが最も多い。(10代 100.0%、20代 60.0%、

30代 73.7%、40代 84.8%、50代 72.9%、60代 48.7%)

女性10代、20代、40代、50代・・・仕事中心の生活バランスが最も多い。

(10代 50.0%、20代 54.4%、40代、48.9%、50代 42.1%)

女性30代、60代・・・家庭生活中心の生活バランスが最も多い。(30代 43.7%、60代 40.0%)

※生活バランスの希望と現実が一致している人の割合

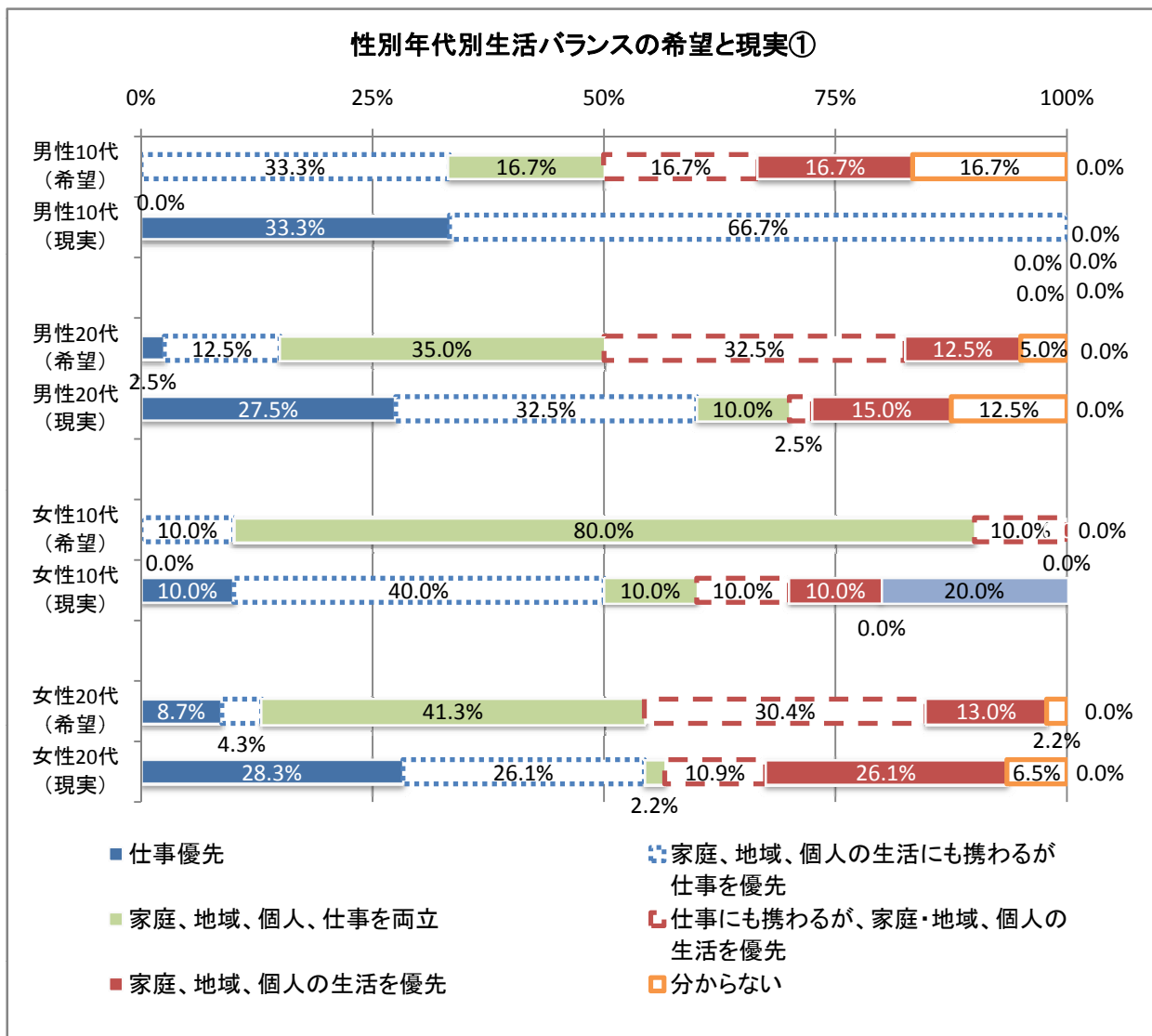
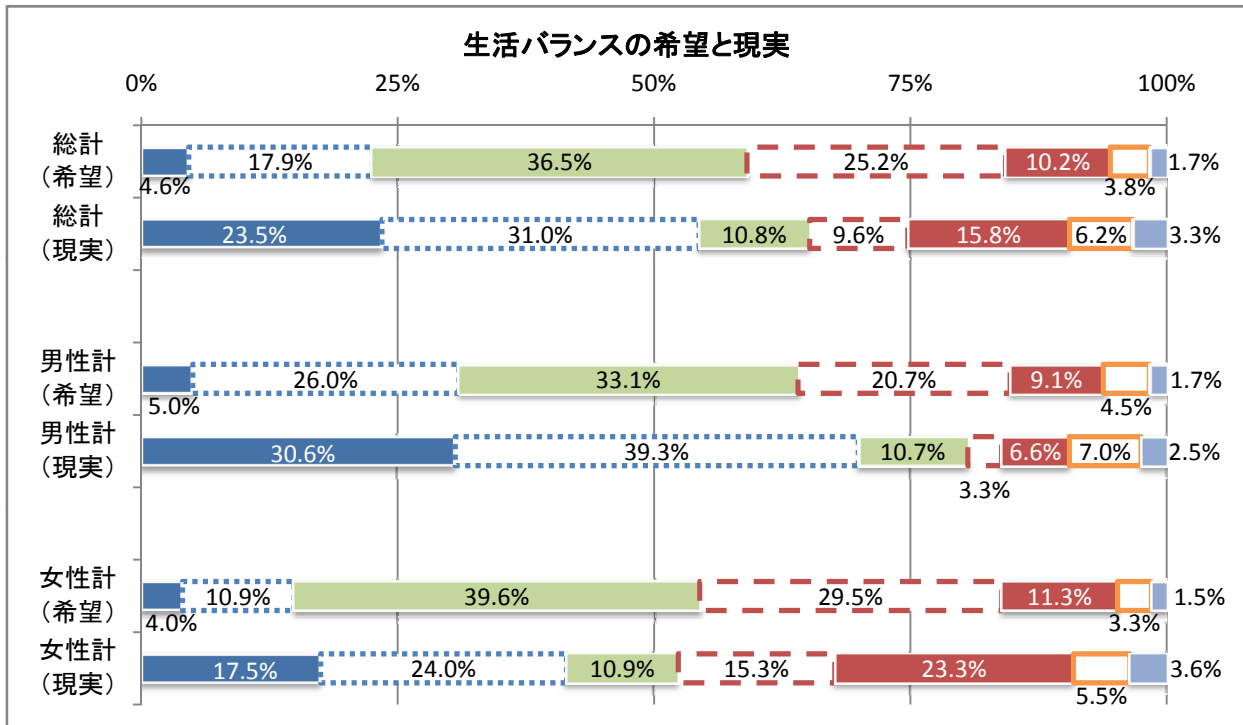
総計では3割程度(30.3%)の人が一致している。年代が上がると希望と現実が一致している割合が増加する。

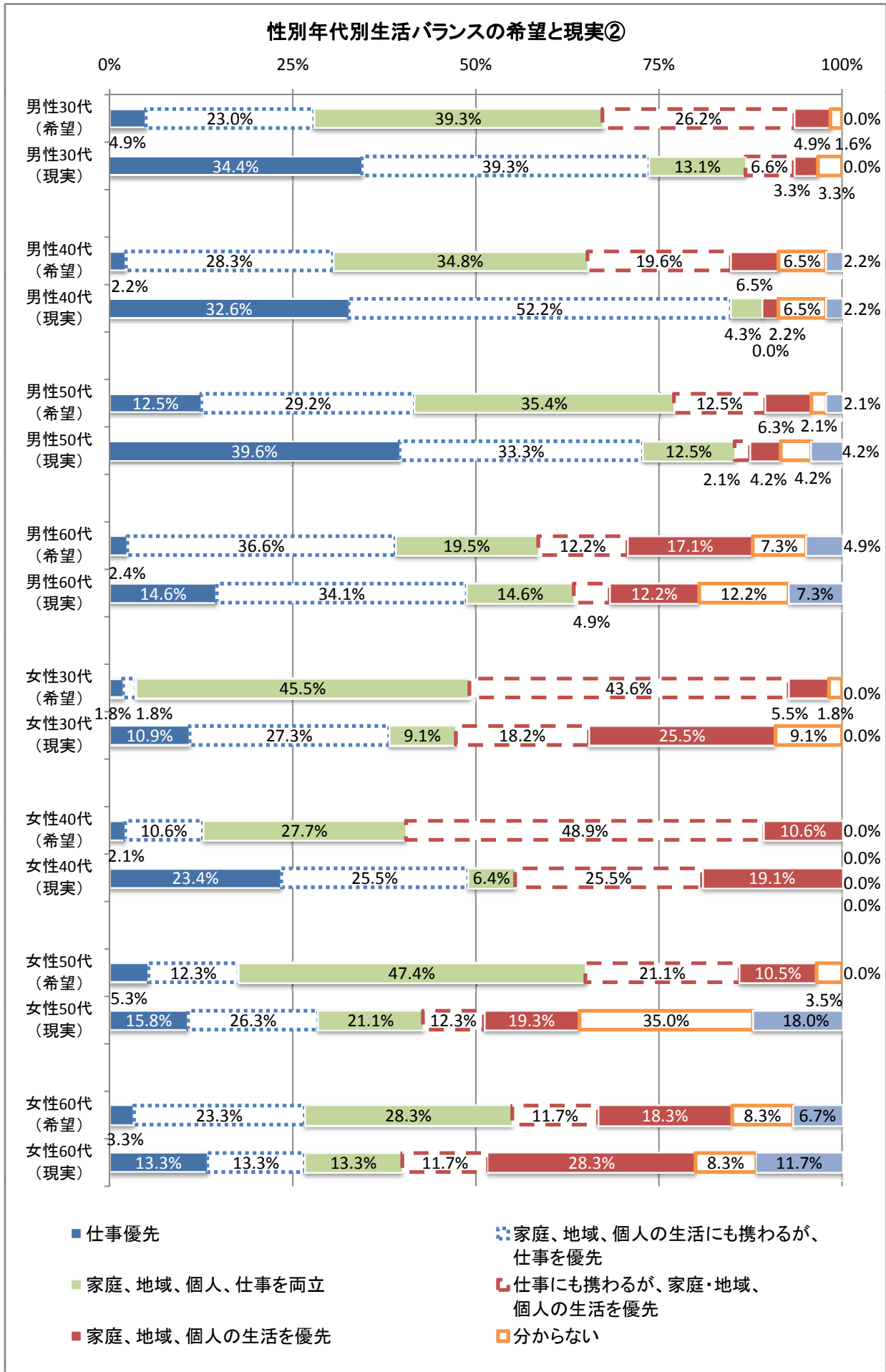
(8)現実の生活バランスの満足度

総計：全て両立の生活バランスで最も高くなっている。男女とも同様の傾向にある。

4. 仕事と家庭、地域・個人の生活の両立について

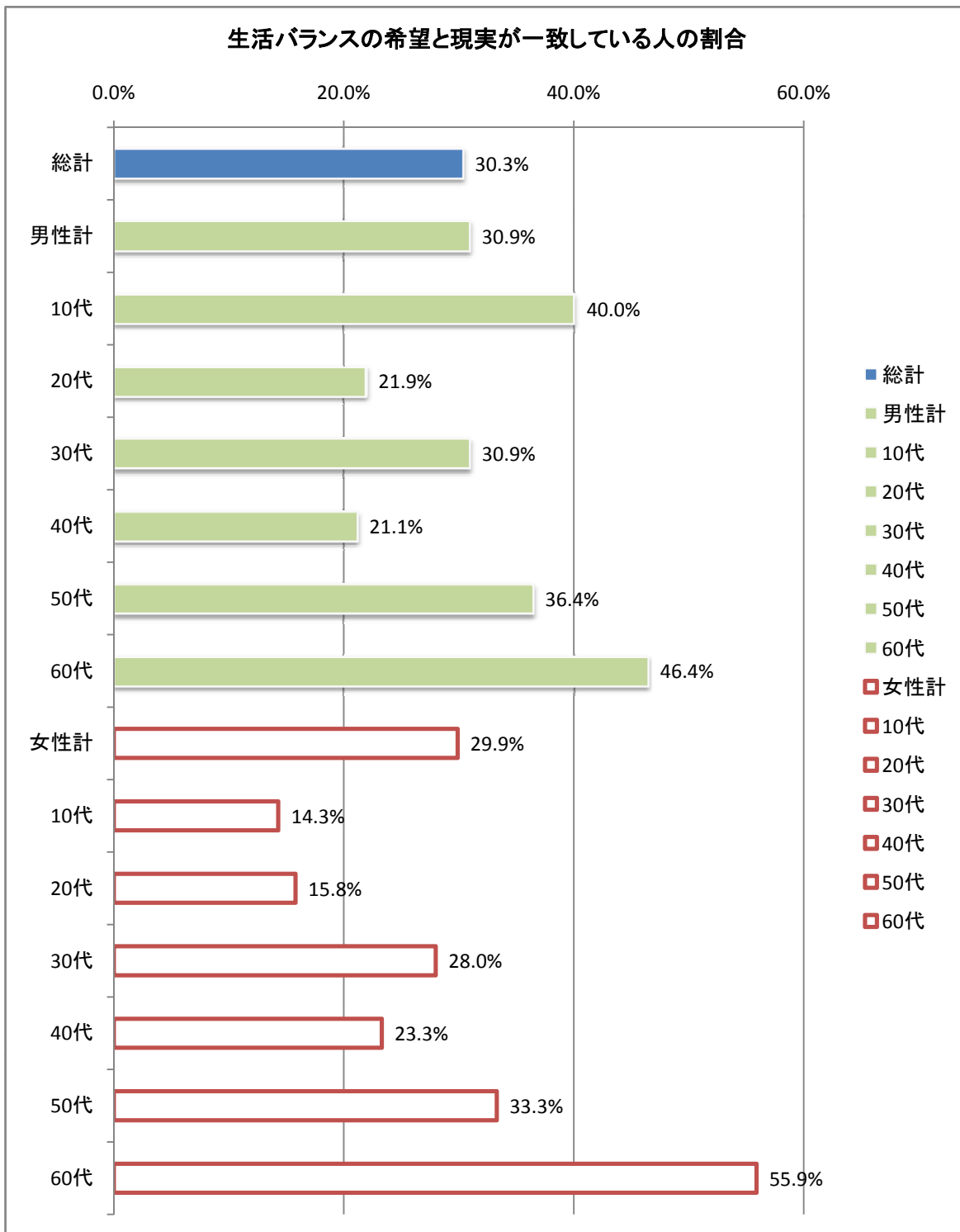
(7)－①②生活バランスの希望と現実(N=520)





(7)－③生活バランスの希望と現実が一致している人の割合(N=402)

※「わからない」、「無記入」を除く



(8) 現実の生活バランスの満足度 (N=471)

